



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 八洲電機株式会社 上場取引所 東
コード番号 3153 URL <https://www.yashimadenki.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長兼COO(氏名) 清宮茂樹
問合せ先責任者(役職名) 経営企画本部担当本部長(氏名) 安重貴城 (TEL) 03(3507)3349
四半期報告書提出予定日 2023年7月31日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,439	28.5	271	—	299	—	194	—
2023年3月期第1四半期	8,902	△25.8	△385	—	△356	—	△245	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 371百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △213百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	9.20	—
2023年3月期第1四半期	△11.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	50,698	24,224	47.4
2023年3月期	58,738	24,392	41.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 24,025百万円 2023年3月期 24,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	62,000	2.9	2,900	3.8	3,000	2.4	2,000	4.4	94.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	21,782,500株	2023年3月期	21,782,500株
2024年3月期1Q	586,268株	2023年3月期	586,177株
2024年3月期1Q	21,196,283株	2023年3月期1Q	21,330,761株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・賃金の増加に伴い個人消費は持ち直し、企業の設備投資においてはデジタル化・脱炭素化の潮流により増加傾向にあり、景気は緩やかに回復しております。その一方で、物価の上昇に賃金の伸びが追いつかず実質賃金のマイナス基調が続いており、消費マインドが好転せず、景気回復への懸念が残る状況にあります。

当社グループは、2024年度を最終年度とする、中期経営計画（連結売上高700億円、連結経常利益35億円、連結経常利益率5%）を策定しております。

目標の達成にむけて、これまで推し進めてきた成長戦略の各種施策や事業構造改革、収益力の強化が着実に成果を上げており、前連結会計年度は上場来最高益を更新しました。

当連結会計年度は、更なる経営基盤強化のために経営体制の若返りを図り、企業価値の向上とエンジニアリング会社としての進化を目指します。当社グループのブランドである「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術を活かしたソリューションエンジニアリング力の更なる強化により、付加価値の増大と収益基盤の拡大を図るとともに、当社グループのエンジニアリング力で顧客のグリーン化（GX）投資、デジタル化（DX）投資、事業変革投資を取込み、社会課題や顧客の経営課題を解決し、持続可能な社会の実現を図るなかで、事業規模の拡大を推進してまいります。また、ウェルビーイング経営（健康経営等）に取り組み、従業員のエンゲージメント向上を図り、「働きやすい、働き甲斐のある企業」を目指し、生産性の向上と企業の業績向上を実現します。

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は114億39百万円（前年同四半期比28.5%増）、営業利益は2億71百万円（前年同四半期は3億85百万円の損失）、経常利益は2億99百万円（前年同四半期は3億56百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億94百万円（前年同四半期は2億45百万円の損失）と、売上高、各段階利益はいずれも大幅な増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①プラント事業

鉄鋼・非鉄分野において、好調な銅・ステンレス業界などを中心に、生産能力増強を目的とした設備の新設や増設が進められていることを背景に、圧延設備などに関連した大型工事案件が順調に進捗し、また、石油・化学・ガス分野では、発電設備などの老朽化対策として、設備の維持・管理を目的とした電気設備更新工事などが増加し、特に石油分野において大型更新工事が進められたことにより、売上高は好調に推移しました。

その結果、プラント事業の売上高は31億71百万円（前年同四半期比74.4%増）、営業利益は2億26百万円（前年同四半期比559.1%増）となりました。

②産業・設備事業

企業の設備投資意欲は底堅く、コロナ禍で先送りにしてきた老朽設備の維持・更新工事が再開するなか、一般産業分野において、工場の生産設備やユーティリティ設備の更新工事が順調に進捗し、また、空調設備分野においては、情報通信分野向け及び理科学分野向けの特種空調及び大口空調案件が順調に推移し、売上高は好調に推移しました。産業機器分野においては、設備機械関連セットメーカーの生産量及び国内製造業の設備投資が昨年度から回復しつつありますが、モータや圧縮機などの売上高は堅調な推移に留まりました。

その結果、産業・設備事業の売上高は68億81百万円（前年同四半期比22.1%増）、営業利益は4億24百万円（前年同四半期比659.9%増）となりました。

③交通事業

交通事業では、依然として需給逼迫による部材の長納期化の影響が残るものの、ビジネスや観光需要が回復傾向にあり、設備投資再開の機運も高まっているなか、車両の保安装置改修やインバータ更新案件等により、売上高は堅調に推移しました。

その結果、交通事業の売上高は13億86百万円（前年同四半期比4.1%減）となりましたが、案件の原価低減等コスト管理の強化により、営業利益は84百万円（前年同四半期は1百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は506億98百万円で、前連結会計年度末に比べ80億39百万円減少しております。主な要因は、電子記録債権(37億87百万円から52億94百万円へ15億6百万円増)、商品(20億4百万円から24億80百万円へ4億75百万円増)が増加した一方、現金及び預金(120億67百万円から120億07百万円へ59百万円減)、受取手形、売掛金及び契約資産(239億68百万円から139億60百万円へ100億8百万円減)が減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は264億74百万円で、前連結会計年度末に比べ78億71百万円減少しております。主な要因は、契約負債(31億94百万円から39億52百万円へ7億57百万円増)が増加した一方、支払手形及び買掛金(235億92百万円から167億52百万円へ68億40百万円減)、未払金(29億41百万円から22億84百万円へ6億57百万円減)、未払法人税等(5億85百万円から23百万円へ5億62百万円減)、賞与引当金(10億5百万円から2億48百万円へ7億56百万円減)が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は242億24百万円で、前連結会計年度末に比べ1億68百万円減少しております。主な要因は、配当金の支払による5億29百万円の減少により利益剰余金(221億80百万円から218億46百万円へ3億34百万円減)が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月通期の業績予想につきましては、2023年5月15日に公表したとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,067	12,007
受取手形、売掛金及び契約資産	23,968	13,960
電子記録債権	3,787	5,294
商品	2,004	2,480
仕掛品	463	415
原材料	85	95
未成工事支出金	194	288
未収入金	2,242	1,447
その他	1,060	1,906
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	45,872	37,894
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,285	4,230
その他（純額）	4,021	3,995
有形固定資産合計	8,306	8,226
無形固定資産		
投資その他の資産	216	193
その他	4,344	4,387
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	4,341	4,384
固定資産合計	12,865	12,804
資産合計	58,738	50,698
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,592	16,752
契約負債	3,194	3,952
短期借入金	1,040	1,040
未払金	2,941	2,284
未払法人税等	585	23
賞与引当金	1,005	248
その他	522	804
流動負債合計	32,881	25,105
固定負債		
長期借入金	170	155
繰延税金負債	-	3
退職給付に係る負債	1,215	1,130
資産除去債務	15	15
その他	63	63
固定負債合計	1,464	1,368
負債合計	34,346	26,474

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,053	1,053
利益剰余金	22,180	21,846
自己株式	△562	△562
株主資本合計	24,258	23,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	397	530
退職給付に係る調整累計額	△452	△428
その他の包括利益累計額合計	△55	102
非支配株主持分	189	198
純資産合計	24,392	24,224
負債純資産合計	58,738	50,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	8,902	11,439
売上原価	7,402	9,216
売上総利益	1,499	2,223
販売費及び一般管理費	1,885	1,951
営業利益又は営業損失(△)	△385	271
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	10
業務受託料	5	3
その他	8	14
営業外収益合計	31	28
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	0	-
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益又は経常損失(△)	△356	299
特別利益		
固定資産売却益	0	-
保険解約返戻金	-	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△356	299
法人税、住民税及び事業税	6	△1
法人税等調整額	△110	101
法人税等合計	△104	100
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△251	198
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△245	194

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△251	198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	148
退職給付に係る調整額	27	24
その他の包括利益合計	38	173
四半期包括利益	△213	371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△207	352
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

近年のエンジニアリング案件の増加に伴い、部門別原価計算による製品原価把握の重要性が増しており、より正確な製品別原価の把握を行うため、当第1四半期連結会計期間より、従来「販売費及び一般管理費」に含めていた人件費・経費の一部を「売上原価」として計上しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「販売費及び一般管理費」に表示していた250百万円を「売上原価」に組み替えております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	プラント 事業	産業・設備 事業	交通事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,819	5,637	1,446	8,902	—	8,902
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	102	27	130	△130	—
計	1,819	5,739	1,473	9,032	△130	8,902
セグメント利益	34	55	1	91	△476	△385

(注) 1 セグメント利益の調整額の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	プラント 事業	産業・設備 事業	交通事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,171	6,881	1,386	11,439	—	11,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28	52	3	84	△84	—
計	3,200	6,933	1,389	11,524	△84	11,439
セグメント利益	226	424	84	736	△464	271

(注) 1 セグメント利益の調整額の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。